

コミュニケーションセミナー(第2回)を開催しました

2010年11月25日

11月9日(火)・12日(金)・16日(火)・18日(木)の4日間、マルチメディアセンター2階会議室において、12時20分から約30分間、昼休みを利用して、里親GP登録学生を対象に、今年度(平成22年度)第2回目のコミュニケーションセミナーを開催しました。

初めての開催であった前回6月(第1回)とは方法を変え、理論編2回と実践編2回に分け、講師を里親学生支援室員でもある、看護学科長・臨床看護学講座(精神看護学)の瀧川薫教授に担当いただき、「医学生・看護学生のコミュニケーションセミナー」と題して行いました。

セミナーの内容は5つのパートに分かれ、パート1では「コミュニケーションの前提」として、安心感と信頼感、位置関係の重要性など、パート2では「自己表現とコミュニケーション」として、自己表現の3つのタイプなど、パート3では「コミュニケーションの基礎知識」として、コミュニケーションの分類やヒューマンコミュニケーションの相互作用など、パート4では「コミュニケーション技法」として、傾聴の姿勢や質問のしかた等、基本的関わり技法など、パート5では「コーチングスキル」として、ペーシング・メッセージ・質問の種類などについて、いずれも親しみのもてるスライドを提示いただきながら、医療従事者を想定して分かりやすく説明していただきました。

学生たちが、今回のセミナーで得たことを、将来の医師・看護師等を意識しながらも、まず身近なところから役立て、里親やプチ里親の方など、目上の人や一般の地域の人たちとのコミュニケーション能力を高めるきっかけとすることを期待しています。

なお、残念なことに、今回、参加学生が少なく、講師の瀧川教授にはご迷惑をおかけしましたが、これにつきましては、今後の検討課題として、次回開催の機会に活かさせていただくこととしました。



瀧川教授

講演される



コミュニケーションセミナーの様子

